

GMOについての質問

健康教育指導者向けの ディスカッション ガイド

人々は十分な情報を知った上で食品を選択したいと考えており、遺伝子組換え生物（GMO）に関するものを含めあなたに回答を求めています。

このディスカッションガイドには、GMOに関して寄せられるよくある質問に対して、簡潔で科学的根拠に基づく回答を掲載しました。



「GMO」とは、ある生物から他の生物へ特定の遺伝物質（DNA）を移すなどのDNAに特定の改変をもたらす技術を用いて、そのDNAを変更させた植物、動物、微生物を指すために用いられる一般的な用語です。科学者はしばしばこのプロセスを[遺伝子工学](#)¹（GE）と呼んでいます。

GMOは食べても安全でしょうか？

はい。米国では、GMO食品には非GMO食品と同じ安全性基準が適用されています。GMO食品は一般に販売される前に、安全性について慎重に調べられています。1990年代にGMO食品が登場して以来、非GMO食品と同じく食べても安全であることが研究²によって明らかになっています。

誰がGMOを規制しているのですか？

米国政府内の複数の連邦機関がGMOの規制に関わっており、米国保健福祉省の食品医薬品局（FDA）、米国環境保護庁（EPA）および米国農務省（USDA）の動植物検疫局などが含まれます。各機関は、GMOが人間、植物、動物の健康にとって安全であることを保証する役割を担っています。これらの機関はGMOが環境に及ぼす影響も監視しています。

アレルギー反応についてはどうでしょうか？

現在市販されているGMOは、非GMO食品と比較して、アレルギー反応を引き起こす可能性は変わらないという研究結果が出ています。

GMOを開発する科学者たちは、開発プロセス中に新しいアレルゲンが導入されていないことを確認するための試験をしています。

食物アレルギーのある人は、食品原材料がGMO作物であろうと非GMO作物であろうと、懸念すべきアレルゲンが含まれていないか、食品成分表示を引き続き確認する必要があります。

セリアック病についてはどうでしょうか？

現在市販されているGMOがセリアック病を引き起こすという証拠はありません。セリアック病³は消化器系に影響を及ぼす重篤な疾患です。これは、小麦やライ麦、大麦に含まれるグルテンに対する免疫反応によって引き起こされます。

もし、GMO食品のタンパク源として小麦やライ麦、大麦が使われることがあれば、FDAは、そのタンパク質がセリアック病患者に反応を引き起こす可能性のあるものかどうかを極めて慎重に検討します。

GMOとがんの間に関連はありますか？

いいえ。GMO作物は、人間や動物の発がんリスクを高めるような改変がされているわけではありません。全米科学技術医学アカデミーは、GMOを日常的に食べている米国での発がん率が、GMO食品をあまり食べない欧州や英国での発がん率と同程度であることを明らかにしました⁴。

他にも質問がありますか？

ここに示した質問は、あなたが受けるかもしれない質問の一例です。GMOについてもっと知りたい方は、www.fda.gov/feedyourmind をご覧ください。



¹<https://www.fda.gov/food/consumers/agricultural-biotechnology>

²<https://www.nationalacademies.org/our-work/genetically-engineered-crops-past-experience-and-future-prospects>

³<https://www.niddk.nih.gov/health-information/digestive-diseases/celiac-disease>

⁴<https://www.nap.edu/read/23395/chapter/8>